

第6 平成24年の山岳遭難を振り返って

1 平成24年に発生した山岳遭難のうちの特徴的な事故

- (1) 5月25日、芦峯寺七姫平の山林へ山菜取りに出掛けた男性1人が、崖から転落し死亡。
- (2) 6月27日、山小屋にて増築工事を終え早月尾根を下降中、残雪のため道に迷った作業員5人を救助。
- (3) 7月18日、船窪岳付近で行方不明になっていた単独女性登山者の遺体を発見。
- (4) 7月から8月にかけて、劔岳別山尾根において死亡・重傷事故が多発。
 - ・ 7月22日、前劔付近にて女性登山者1人が鎖場でバランスを崩し転落死
 - ・ 7月28日、前劔付近にて男性登山者1人が心疾患のため病死
 - ・ 8月2日、前劔付近にて女性登山者1人が岩場で足を踏み外し転落死
 - ・ 8月27日、平蔵のコル付近を下降中の女性登山者2人が、登山道を外れ転落し重傷
 - ・ 8月29日、カニのヨコバイを下降中の女性登山者1人が、バランスを崩し転落死
- (5) 8月15日、馬場島から劔岳に向かったまま行方不明となっていた単独男性登山者を、白萩川中仙人谷にて遺体で発見。
- (6) 8月22日、称名川支流ザクロ谷を遡行していた2人パーティーのうち1人を溺死体で発見。
- (7) 9月7日、小窓雪溪上部にて、男性登山者1人が雪溪崩壊のためシュルンド内に転落し重傷。
- (8) 9月7日、室堂平登山道上にて、男性登山者1人が心疾患のため病死。
- (9) 9月26日、馬場島から池ノ平へ向かった単独男性登山者が行方不明。
- (10) 10月10日、劔岳方面へ向かった単独男性登山者が行方不明。
- (11) 10月の紅葉時期に、弥陀ヶ原一ノ谷において転落事故連続発生（重傷2人、軽傷1人）。

2 その他

本年の特徴として

日・熱射病、心疾患等の病気が原因の遭難が多発

といったように、体調管理を怠ったまま無理に行動したために、結果的に行動不能に陥るといった遭難事故が目立った。

また依然として、下山の報告が不足していたために、心配した家族が通報する事案も多数散見された。

登山の際には、日程や行動等を十分に検討して登山計画書を作成し、無理な行動を控え、家族や関係者に行き先、下山日を確実に伝えるとともに、警察や山小屋等にも登山計画書を提出してください。